YAMAHA

ProjectPhone

PJPシリーズ導入事例 02

清水建設株式会社様

導入機種 → PJP-100UH／4台　PJP-50R／13台

導入時期 → 2006年8月

基本構成 → Web会議システム（NTTアイティ社）の高性能会議用マイクスピーカーとして、PJP-100UHを導入

会社概要（2006年12月25日現在）

創業	1804年（文化元年）初代 清水喜助による
資本金	743.65億円
連結売上高	1兆6,540億円（2007年3月期）
従業員	11,357人（2007年4月1日現在）
事業内容	建築・土木等建設工事の請負（総合建設業）
本社所在地	東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館
URL	http://www.shimz.co.jp/

高性能会議用マイクスピーカー・PJP-100UHで、多人数が参加する活発なWeb会議を実現しました。

PJP導入の背景

Web会議システムだけでは、多人数の円滑な会議に不具合。

- 百数十拠点にWeb会議を導入
- コスト削減と作業所支援が目的
- 煩雑なハンドマイク使用

1804年の創業以来、200年を超える歴史を誇る清水建設様。連結売上高は約1兆6,540億円で、世界でもトップクラスの総合建設企業です。同社では支店・営業所・建設作業所など、数多くの拠点が国内外に分散しています。このため2004年の秋、出張に伴う全社的なコスト削減と、拠点間の円滑なコミュニケーション実現を目的として、全国百数十拠点にNTTアイティ社のWeb会議システム「MeetingPlaza」を導入しました。しかし、Web会議システムをテレビ会議のように使用するためにはマイクやスピーカーなどの音声機材の問題があり、また同一拠点から多人数が参加する形態の会議では、出席者にマイクを渡してからでないと発言できないなど、音声部分の改善が必要でした。この課題を解決するために2006年8月、Web会議システムの高性能会議用マイクスピーカーとして、ヤマハのPJP-100UHを導入しました。

PJPを選択した理由

双方向の活発な議論でも自然な会話が成り立つPJP。

- エコーやハウリングがない
- 接続や設定が簡単
- 会議室に適応した機能美

同社では、Web会議システムと連携できる様々なマイクスピーカーを検討。そこで求められた要件は次の4点でした。①会議を台無しにする「ハウリング」が起こらないこと。②音量やマイクの方向性の調整などが必要なく、音声の品質に優れていること。③設置や設定が簡単で、誰にでも家電感覚で操作できること。④会議室の雰囲気にとけ込む機能美をもっていること。特に、同社の会議は複数の人間が同時に話すことが多いため、その活発な双方向の議論でも使える高性能なマイクスピーカー機能が必要不可欠でした。こうした要件をすべてクリアしたのが、PJP-100UH。高性能の適応型エコーキャンセラーを搭載しているため、システムを意識することなくスムーズな会話を実現。また各拠点で誰でもが簡単に使える操作性の良さが、高く評価されました。まさに同社が求める「円滑な会議」が実現したのです。

PJP導入の成果

モノ作りコミュニケーションを確実に支えるPJP-100UH。

- 大型モニターで資料を共有
- 高品質の音声で双方向議論
- PJPによる最適会議が実現

同社では現在、全国の拠点をADSL、Bフレッツなどの回線で接続し、Web会議システムを運用しています。PJP-100UHを4台、本社会議室に設置し、各拠点にはPJP-50Rを配備。定例の営業所長会議の他、週に20〜30回開催されるSS（生産・設計）会議でも積極的に活用されています。同社は営業・設計・施工が一体となったサービスを強みとし、様々な分野のプロフェッショナルがチームとして高度なプロジェクトに取り組んでいます。SS会議はまさにその代表的な例。必要な図面や資料を大きなモニターで共有しながら、極めて品質の良い音声で活発な双方向の議論が実現しています。清水建設様が誇るモノ作りコミュニケーションの基盤を、ヤマハの高性能マイクスピーカーであるPJP-100UHが確実に支えているのです。

ご導入いただいた機種

PJP-100UH

希望小売価格:252,000円（本体価格 240,000円）
JANコード:49 60693 23264 4

会議システムに最適な32個のマイク、12個のスピーカー、適応型エコーキャンセラーを搭載した高性能マイクスピーカー。

YAMAHA

PJPシリーズ導入事例
株式会社清水建設 様

音が良く、使いやすい。
それがヤマハのPJP-100UH。
多人数の活発な議論でも、ストレスなく会話が可能です。

お客様の声

Web会議システムとPJP-100UHの組み合わせは、当社にとって最適な会議システムでした。

「当社が導入したWeb会議システムは、ヘッドセットを使って個人対個人の会議を行う場合にはとても有効でした。例えば、本社と現場が写真を見ながら妥当な施工方法を検討する、といった用途です。しかし当初想定していた営業所長の定例会議など、多人数同士の会議では、マイクミクサーを使いハンドマイクを回しながらの会議になってしまった。話し手がマイクを意識してしまい、またハウリングにも悩まされました。設置や設定も複雑で、円滑な会議にはほど遠い状態だったのです。PJP-100UHのおかげで、こうした問題はすべて解決しました。当社では数多くの専門家の英知を集めたモノ作りコミュニケーションが欠かせないのですが、PJP-100UHはそのための最適かつ不可欠なマイクスピーカーだったと高く評価しています。」

設計本部生産設計部長　室田文男様

業務システム改革推進グループ長　山田照雄様

コンパクトな会議に最適なPJP-50R

Web会議に固定電話や携帯電話から参加も可能。PJP-50Rはコンパクトな会議に最適です。

清水建設様では、各拠点や人数の少ない会議でのマイクスピーカーとして、PJP-50Rを採用しています。価格も手頃なPJP-50Rには、3つの接続端子が搭載されています。まずPCと接続してWeb会議用のマイクスピーカーとして使用する場合の「オーディオ入出力」、IP接続用の「LANポート」、そしてアナログ電話接続用の「LINE端子」です。しかもオーディオミキサー搭載のため、すべての端子を同時に使用することが可能。このため、IP電話、アナログ電話、携帯電話や固定電話からの会議参加など、極めて多様な会議形態にも対応できるのです。清水建設様の多彩な社内コミュニケーションを、PJPシリーズがこれからも支えていきます。

人数の少ない会議では、手頃な価格のPJP-50Rも大活躍。

PJP-50Rの多彩な接続端子

PJP-100UHの特長

ヤマハの音響技術を結集させたPJPシリーズ。新しい形の会議システムを実現します。

適応型エコーキャンセラー搭載で、スムーズな双方向会話を実現

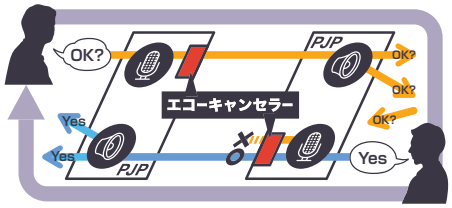
PJP-100UHは自機から再生された音を収音しても、エコーキャンセラーでその音を確実に除去。さらに再生音の廻りこみを極小化する構造設計により、より聞きやすく話やすい円滑な双方向会話を実現しています。

長時間の会議でも疲れない、聞き取りやすい音声を再生

USBかオーディオケーブルでPCと接続すれば、Web会議をTV会議のように多人数で快適に使用できます。これまで隣の人ともヘッドセット越しに会話をしていた不便な状況を解決。自然な音声で長時間会議でも疲れません。

どんな環境でも使用可能。USB接続で簡単セットアップ

使用している環境を学習してエコーを確実に処理するため、反響の多い部屋など、さまざまな環境下で使用できます。またUSB接続であるため、セットアップも極めて簡単。どこでも、気軽に使えます。



販売パートナー様の声

PJPは、収音範囲が広く、音質が抜群。さすが「音のヤマハ」だと高く評価しています。

当社のWeb会議システムである「MeetingPlaza」は、安定した動作などが評価され、すでに1,200社を超える企業に導入されています。清水建設様のように、会議室では各種のマイクスピーカーとセットで使われることが多いのですが、PJPはその中でも性能などの面で最上位機種と位置づけています。特に音声にこだわるお客様には、PJPは最適な機種ですね。PJPのカタログは常に携帯し、デモ機も積極的にお試しいただいています。今後も性能や価格の面で、さらに進化していただきたいと期待しています。

NTTアイティ株式会社　Web会議システム事業部　営業部担当課長　宮野 浩三 様

PJP-100UHの概要

●寸法／750(幅)×100(奥行)×65(高さ)mm　●重量／約2.9kg(電源アダプタ含まず)　●電源／AC100V 50/60Hz　●形状／会議用マイクスピーカー
●音声インターフェース／USB2.0 Full Speed、アナログ音声入出力(径3.5mmステレオミニジャック)、周波数帯域:300～7000Hz、本体スピーカー:アレイスピーカー12個、音量:85dB(0.5m)以上、本体マイク:アレイマイク16個×2列、指向性制御機能
●その他機能／適応型エコーキャンセラー、ノイズリダクション、ファームウェアリビジョンアップ機能(PCよりUSB転送)、対応OS:Microsoft Windows XP/2000/Vista

Microsoft、WindowsおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

⚠ **安全に関するご注意**　●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。

YAMAHA
感 動 を ・ と も に ・ 創 る

プロジェクトフォンお客様ご相談センター
■ お電話によるお問い合わせ先　☎053-460-2822　■ FAXによるお問い合わせ先　053-460-2829
ご相談受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)
◎会議システム プロジェクトフォンの最新情報はこちら　http://www.yamaha.co.jp/projectphone/

このパンフレットは無塩素漂白(ECF)パルプを使用しています。
このパンフレットは再生紙と大豆油インクを使用しています。

製造元　ヤマハ株式会社　サウンドネットワーク事業部　〒430-8650　静岡県浜松市中区中沢町10-1　2007年7月作成　カタログコード　MPJPD0002